

2023年度 第1回監査問題解説コース（定時配信）

生成AI（ChatGPT等）を利活用する際の コンプライアンス上のポイント

このコースでは、内部監査人として知っておくべき重要課題等について解説・紹介を行います。

本研修会はZoom（※）動画配信です。Zoomの導入方法は下記でご案内いたします。

※ Zoomビデオコミュニケーションズが提供するクラウドコンピューティングを使用したWeb会議サービス。

※ 今回は予め収録した講演映像を用いた研修です。

※ 講義の録音、録画はご遠慮ください。

Zoomによる 配信日時	※下記の3回を予定しております。 （配信内容はいずれも同一です。ご都合のつく日時にご参加ください） ①2023年 6月28日（水） 14：00～15：40（開場13：30） ②2023年 6月29日（木） 10：00～11：40（開場 9：30） ③2023年 6月30日（金） 18：00～19：40（開場17：30）
講師	渡邊 隆彦 氏 専修大学 商学部 教授 公認内部監査人（CIA）
定員	各回それぞれ950名（申込先着締切）
視聴資格	当協会正会員 および 個人会員（視聴無料） ※お申込時に登録した情報のご本人様のみご参加可能。
お申込み方法	次ページ以降をご参照ください。

主催：



一般社団法人日本内部監査協会
The Institute of Internal Auditors
Japan

研修内容

1. 《はじめに》生成AIについて
2. 著作権法に係るコンプライアンス上のポイント
3. 個人情報保護法に係るコンプライアンス上のポイント
4. 他社の秘密情報（秘密保持契約）に係るコンプライアンス上のポイント
5. 自社内の秘密情報（営業秘密）に係るコンプライアンス上のポイント
6. その他のコンプライアンス上のポイント
7. 《おわりに》生成AIの利活用に向けて



講師

渡邊 隆彦 氏

専修大学 商学部 教授

公認内部監査人（CIA）

講師からメッセージ

2022年末ごろから、ChatGPTをはじめとする「生成AI」が世界的に大きな注目を集めています。「人間の生産性を飛躍的に向上させるのではないか」との期待が高まる一方、諸々の課題や限界も指摘されているため、「生成AIに興味はあるのだけれど利用することをためらっている」企業が多数存在するようです。

本講座では、企業が生成AIを利活用する際の、著作権法や個人情報保護法といったコンプライアンス面からの留意点を、整理しながら分かりやすく解説いたします。

生成AIを活用したいと考えている方々にとってコンプライアンス上のポイントを押さえる絶好の機会ですので、どうぞ皆さま奮ってご参加ください。

なお、受講にあたり、法令に関する詳しい知識は必要ありません。

お申込み方法

当協会会員サイトに掲載。 会員サイト よりお申込みください。

お申込み前にご利用の機材で「Zoom」によるオンライン配信の講義が視聴可能であることをご確認ください。
接続環境安定のため、Wi-Fi等の無線ではなくなるべく有線で接続してご受講ください。

ご参考まで ⇒ <https://www.iiajapan.com/leg/training/zoom/>

【会員サイトの利用登録について】

- 会員サイトの利用登録は1会員につき付与するID（ユーザー名）は1つとなりますので、事前に社内（部署内）での登録状況の ご確認をお願いいたします。（正会員の方）
- 既に利用登録されている会員の方は、付与されているID（ユーザー名）とパスワードを入力してログインしてください。
- 会員サイトに登録していない場合は、会員サイト新規登録が必要になります。
- 会員サイトの新規登録、またはユーザー名・パスワードお忘れの方は[こちら](#)よりお問合せください。

※事情により、中止あるいは配信日時等が変更になる場合は、当協会ホームページ等でお知らせいたします。 恐れ入りますが、最新情報は当協会 ホームページ でご確認ください。

【CPE単位について】

「2.0CPE単位」が付与されます。⇒ “CPE単位”とは、CIA、CCSA、CFSAおよびCRMA資格等の 継続的専門能力開発制度における認定単位です。CPEを報告される方は、視聴後日に配信される「修了証メール」を受講証明として、最低3年間、保管をお願いします。

なお、「修了証メール」の紛失等には一切の責任は負いかねます。あらかじめご了承ください。

また、同じ内容の研修会を複数回受講された場合も、CPE活動単位としてカウントできるのは1度のみとなります。